



ALINCO Now

アルインコ株式会社
2024年3月期第1四半期
決算補足説明資料
2023年7月

証券コード：5933 東証プライム
<https://www.alinco.co.jp/>

目次



2024年3月期第1四半期の業績について	2
2024年3月期業績予想について	10

2024年3月期第1四半期の 業績について

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

2

2024年3月期第1四半期 連結業績

- ✓ 仮設機材レンタル会社の購買は夏場以降本格化する見込みで、期初の予想に比べて大きな変動はないものの、現場着工が後ずれした影響を受けて新規購買が一時的に減少。代わってレンタルでのニーズが拡大し、販売とレンタルが連携して補完するかたちで売上高は堅調に推移し前年同期並みとなった
- ✓ 利益面では、円安環境の継続や原材料価格の高止まりなどコスト上昇圧力が継続したものの、前期に実施した販売価格改定が期初から寄与し、営業利益は前年同期比59.9%増。経常利益は、為替差益が減少したことによって前年同期比19.7%増となった

(単位：百万円)

	2022.3月期 1Q	2023.3月期 1Q	2024.3月期 1Q		2024.3月期 通期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	1Q進捗率
売上高	12,935 (100.0%)	14,414 (100.0%)	14,149 (100.0%)	△265 (△1.8%)	62,400 (100%)	22.7%
営業利益	489 (3.8%)	476 (3.3%)	762 (5.4%)	+285 (+59.9%)	2,500 (4.0%)	30.5%
経常利益	674 (5.2%)	1,025 (7.1%)	1,227 (8.7%)	+201 (+19.7%)	2,700 (4.3%)	45.4%
親会社に帰属する四半期純利益	462 (3.6%)	604 (4.2%)	882 (6.2%)	+277 (+45.9%)	1,700 (2.7%)	51.9%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved.

3

2024年3月期第1四半期 セグメント情報

- ✓ 建設機材セグメントは、年間を通じた顧客の購買意欲に大きな変動はないが、購入時期が後ずれしたため売上高が前年同期対比で減少。仮設機材の購買後ずれはレンタルニーズの拡大となってレンタル資産の稼働率が上昇。イベント向けや海外レンタル子会社の売上増も寄与し、レンタルセグメントの売上高増が全体の下支えとなった
- ✓ その他のセグメントは、売上高、セグメント利益とも堅調に推移した

(単位：百万円)

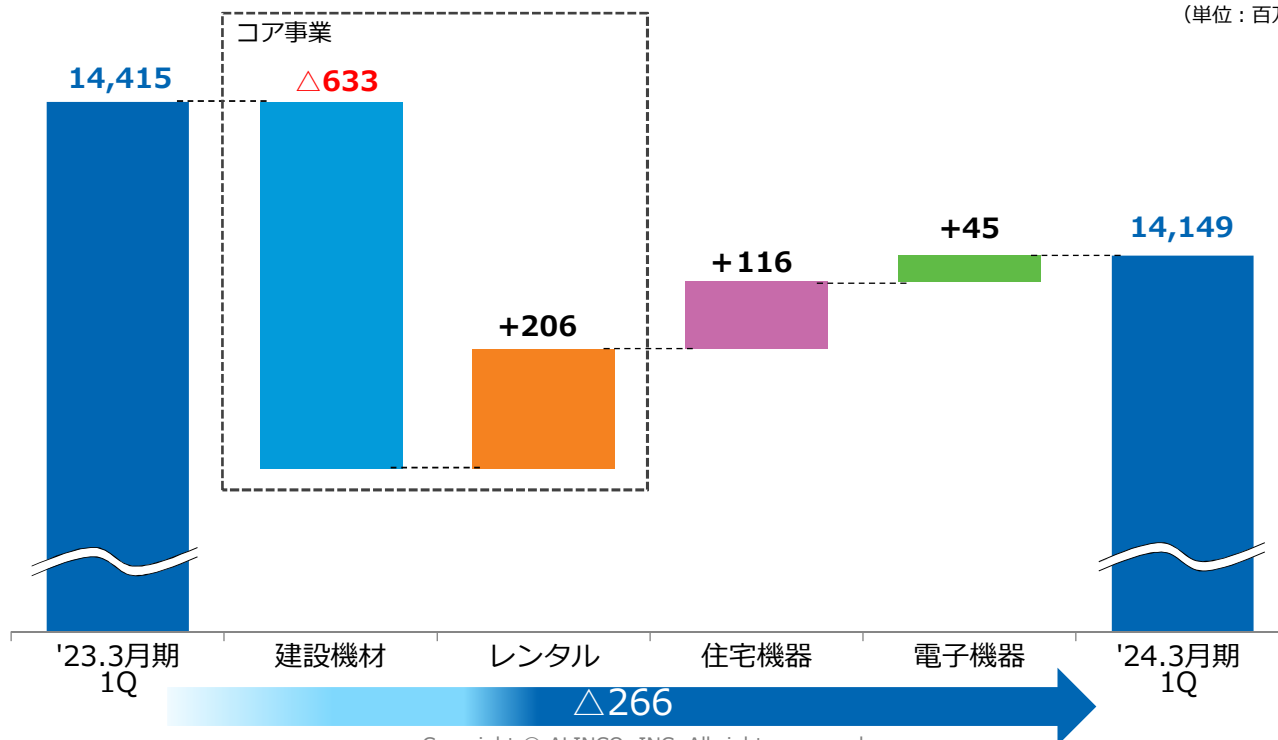
上段：売上高 下段：セグメント利益	2022.3月期 1Q	2023.3月期 1Q	2024.3月期 1Q		2024.3月期 通期	
		実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想
建設機材関連	4,720 375	5,695 604	5,061 598	△11.1% △1.0%	24,800 2,400	20.4% 24.9%
レンタル関連	3,784 127	4,098 130	4,305 267	+5.0% +104.3%	17,200 210	25.0% 127.1%
住宅機器関連	3,545 14	3,298 △53	3,415 △58	+3.5% -	14,500 △120	23.6% -
電子機器関連	884 35	1,321 32	1,367 36	+3.4% +11.5%	5,900 130	23.2% 27.7%
調整	- 122	- 311	- 383	- -	- 80	- -
全社合計	12,935 674	14,414 1,025	14,149 1,227	△1.8% +19.7%	62,400 2,700	22.7% 45.4%

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

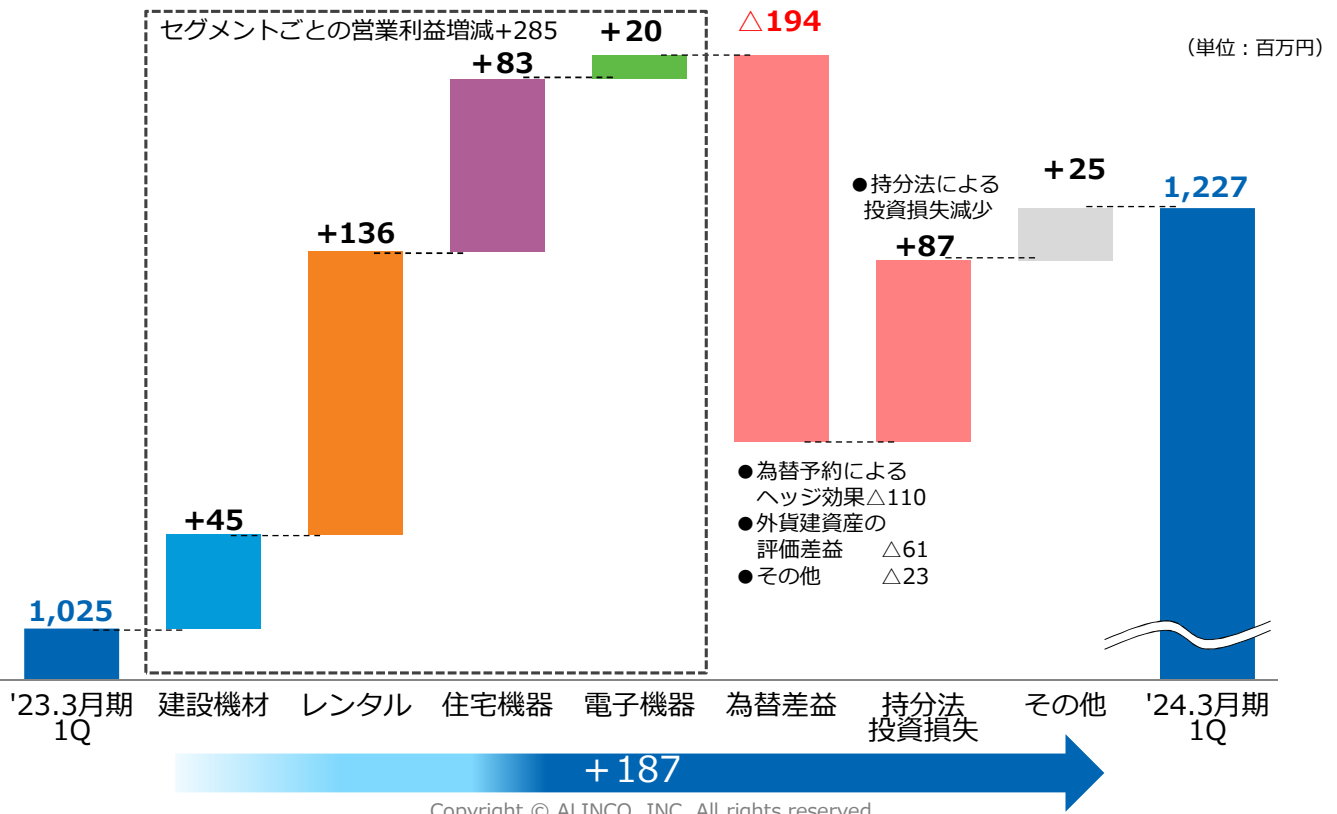
2024年3月期第1四半期 売上高セグメント別増減要因

- ✓ 建設機材セグメントは仮設機材販売が前年同期比2.5億円減、物流倉庫向けラックなどの販売が同3.8億円減少
- ✓ レンタルセグメントは仮設機材の購買ニーズがレンタルに移ったことやイベント向けや海外レンタル子会社の復調が寄与
- ✓ フィットネス関連製品や電子機器セグメントは新製品の投入によって売上高は堅調に推移

(単位：百万円)



- ✓ 営業利益は、レンタルセグメントの増収と前期に実施した販売価格改定が期初から寄与
- ✓ 経常利益は、前年同期に比べて為替ヘッジによる為替差益が減少。前連結会計年度にインドネシアの持分法適用関連会社を連結子会社化したことで持分法投資損失が減少



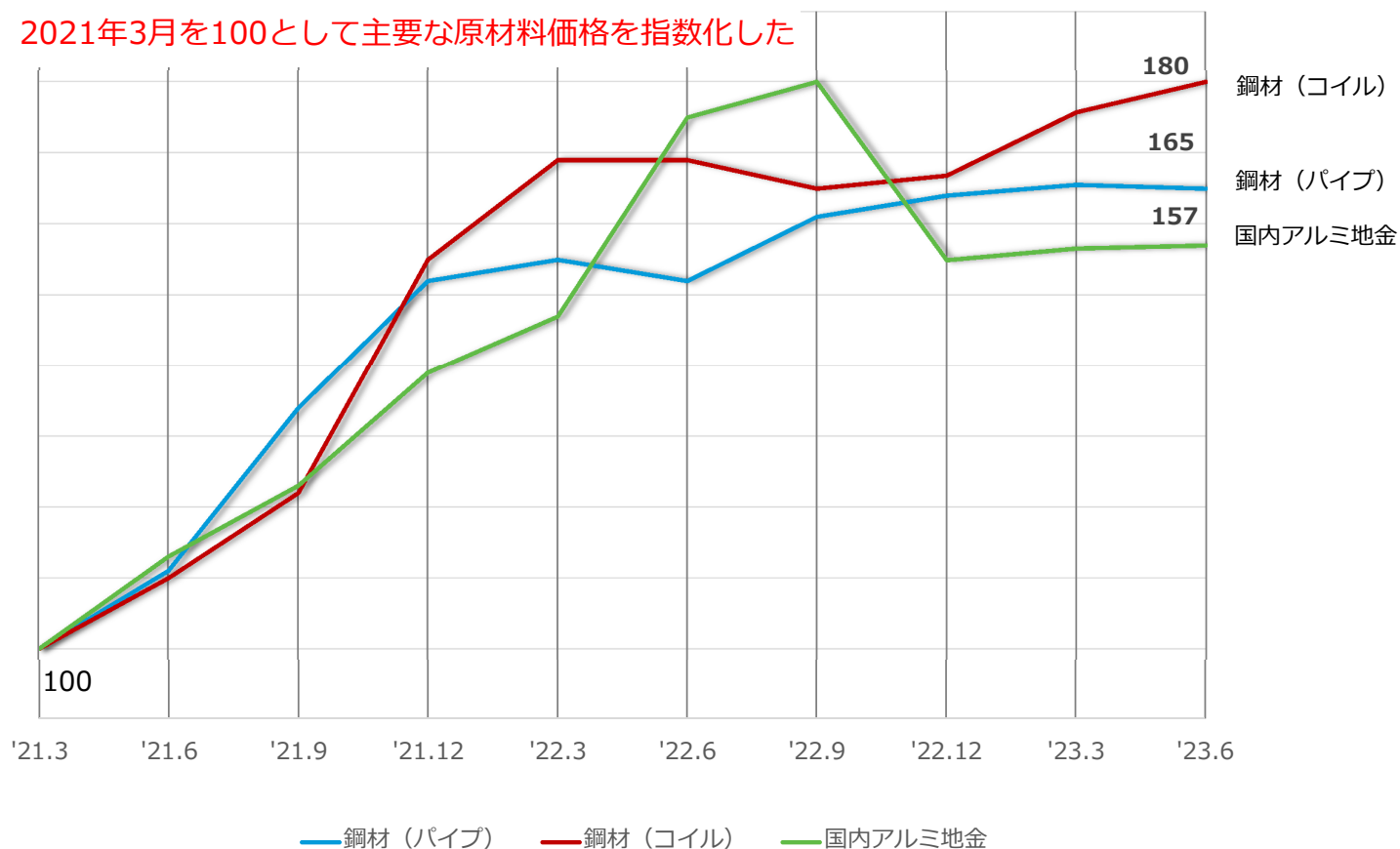
Copyright © ALINCO, INC. All rights reserved.

2024年3月期第1四半期のセグメント別業績について

建設機材関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建築工事の着工が後ずれしている影響から、新型足場「アルバトロス」の購入を検討している顧客において、購買時期を先送りしてレンタルで対応を図る動きが生じた ✓ 「アルバトロス」に連動する製品群は前年同期比で減少したものの、アルミ製作業台は期初から好調に推移し販売が増加 ✓ 物流倉庫向けのラックの販売では、受注規模が小型化し数量ベースでの販売が減少 ✓ 売上高は減少したが、前期に実施した販売価格改定によって利益改善が進んだ 	住宅機器関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アルミ製昇降器具などの製品は、コロナ禍で減少した展示会開催が本格回復し、作業台などの拡販が進んだ ✓ フィットネス関連製品は、前期に準備を進めた“値ごろ感”を出した新製品の積極投入で売上高は堅調に推移 ✓ フィットネス関連製品は、第2四半期以降も新製品の投入準備が進んだ ✓ 円安によるコスト上昇圧力が継続しているが、前期に実施した販売価格改定が寄与
レンタル関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仮設機材レンタル会社が購入に代えてレンタルで対応する動きから、中高層用レンタルの稼働率が上昇 ✓ 受注機会の増加に応じてレンタル資産の投資を積極化 ✓ イベント向けのレンタルは、コロナ禍からの回復が本格して売上高増 ✓ インドネシアの海外子会社は資源プラントの工事が活況化して売上高が増加 	電子機器関連	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新型デジタル受信機の販売が好調 ✓ IP無線などの新分野関連の製品は想定通り発売。第2四半期以降に向けて拡販を図る ✓ 特定小電力無線機や業務用無線機の販売は引き続き堅調 ✓ 東電子工業における新工場建設は、10月の竣工に向けて予定通り進行中

主要な原材料価格の実勢推移

2021年3月を100として主要な原材料価格を指数化した



ドル／円相場の推移



2024年3月期業績予想について

7月20日に2024年3月期第2四半期連結業績予想の修正を公表 ALINCO

1. 2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2023年3月21日～2023年9月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	29,900	1,080	1,200	840	42.84
今回修正予想（B）	29,900	1,450	1,800	1,250	63.73
増減額（B - A）	—	370	600	410	
増減率（%）	—	34.3	50.0	48.8	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2023年3月期第2四半期）	29,852	1,002	2,026	1,222	62.71

2. 修正の理由

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界においては建築需要が高水準で継続しており、当社グループのレンタル関連事業においてはレンタル資産の稼働率が上昇し、期初の想定に比べて売上高が好調に推移しています。加えて、前連結会計年度において実施した販売価格改定の効果が利益面での改善に寄与していることや外貨建資産などの為替評価益が生じたことから、各利益項目について、2023年5月2日に公表しました2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想を上方修正いたします。

なお、経常利益については前年同期を下回る予想ですが、これは前年同期における為替ヘッジによる為替差益が減少することによるものです。

また、2024年3月期通期連結業績予想については、今後、市場や為替相場の動向など各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

※ 2023年7月20日公表「2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想に関するお知らせ」から抜粋転載

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績 (前期比 増減率)	2024年3月期				
		1Q実績 (前年同期比 増減率)	当初上期予想 (前年同期比 増減率)	対当初上期予想 1Q進捗率	修正上期予想 (前期比 増減率)	通期予想 (前期比 増減率)
売上高	60,717 (+9.9%)	14,149 (△1.8%)	29,900 (+0.2%)	47.3%	29,900 (+0.2%)	62,400 (+2.8%)
営業利益	2,420 (+116.3%)	762 (+59.9%)	1,080 (+7.8%)	70.6%	1,450 (+44.7%)	2,500 (+3.3%)
経常利益	3,568 (+216.9%)	1,227 (+19.7%)	1,200 (△40.8%)	102.3%	1,800 (△11.2%)	2,700 (△24.3%)
親会社に帰属する 当期純利益	1,546 (+242.8%)	882 (+45.9%)	840 (△31.3%)	105.0%	1,250 (+2.3%)	1,700 (+9.9%)
建設機材関連	売上高 24,472 セグメント利益 2,767	5,061 598	11,800 1,180	42.9% 50.7%	11,800 1,180	24,800 2,400
レンタル関連	売上高 16,973 セグメント利益 437	4,305 267	8,300 90	51.9% 296.7%	8,300 380	17,200 210
住宅機器関連	売上高 13,780 セグメント利益 △124	3,415 △58	6,990 △210	48.9% -	6,990 △300	14,500 △120
電子機器関連	売上高 5,491 セグメント利益 225	1,367 36	2,810 80	48.6% 45.0%	2,810 140	5,900 130
調整	- 261	- 383	- 60	- -	- 400	- 80
全社合計	売上高 60,717 セグメント利益 3,568	14,149 1,227	29,900 1,200	47.3% 102.3%	29,900 1,800	62,400 2,700

Copyright © ALINCO. INC. All rights reserved. (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。 12

2024年3月期 連結業績予想の前提

当初の前提からの変化

- ✓ 前提とした事業環境は基本部分において各セグメントとも大きな変化なし
- ✓ 仮設機材の販売においては、顧客の購買活発化が後ろずれしているが、夏場以降に本格化する見込みで通年では大きな影響なし
- ✓ レンタルニーズの高まりでレンタル資産投資が増加しており減価償却費の増加が見込まれる
- ✓ 期初想定した為替レート125円に対して円安で推移しているが、販売価格改定の効果が利益面で下支え

セグメントごとの前提

建設機材セグメント

- ✓ 仮設機材関連の販売は前期比8.3億円増の178.9億円
- ✓ 物流関連の販売は前期比5.0億円減の69億円
- ✓ 販売価格の値上げ効果が通年寄与するが、原材料価格の上昇も想定
- ✓ 追加の販売価格改定は想定せず

住宅機器セグメント

- ✓ アルミ昇降製品などは、前期の急速な円安による輸入コスト上昇に対して追加的な販売価格改定に取り組む
- ✓ フィットネス関連製品の販売は、物価高下での価格戦略の見直しや新たなブランド展開による顧客開拓により前期比6億円増の42.7億円

レンタルセグメント

- ✓ 機材の稼働率は高水準での推移を見込むが、機材ヤード増設による固定費増加が利益圧迫
- ✓ レンタル単価の改定に取り組むが、競争環境厳しく効果は不透明
- ✓ 新型足場のレンタル資産への投資は、販売との連携によって拡大し、レンタル資産の減価償却費は増加

電子機器セグメント

- ✓ 既存の特定小電力や簡易業務無線でカバーしきれない、携帯性と通話到達性能を備えた新製品群 (IP無線、アプリ無線) で売上高拡大を図る
- ✓ 技術面では新デジタル方式搭載の無線モジュール発売でシェア拡大を図る
- ✓ 東電子工業(株)の新工場は下期から稼働開始予定で内製化率向上するが、減価償却負担が先行して発生

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社・経理部

大阪市中央区高麗橋4-4-9淀屋橋ダイビル

Tel:06-7636-2220・Fax:06-6208-3701